

伊豆天城山

ピンク色の中を歩く

T K

いた。天城山
と言えば石
楠花。昨年度
登ったIMさ
んからの間
接的な情報
では昨年の石楠花は素晴らし
かったとのこと。ということ
は、今年は裏年、外れで期待
出来ない。しかも今回、出発
時点から展望は期待できなく、
房総半島も海も顔を隠したま
まだった。が、石楠花の花は
頂上近くで僅かながらも観る
ことが出来た。その上満開の
石楠花を補う予期せぬ景色に
恵まれた。

らしき膨らみが見える。やが
て、濃いピンク色に染まった
登山道が、ズーと頂上まで途
切れることなく、そこここと
現れる。どんよりした天気の
中だったが、貴族気分である。
更に頂上付近の枝はピンクに
彩られ真つ盛りである。傍ら
には衛兵の青々とした鳥兜（こぶと）
が陣取っている。

千葉県富士（フジ）新年ハイ
クに描いたOhさんのご主人の
スケッチ画（会報、15年2月号）
を見ると今でもあの時の気持
ちも雰囲気も思い浮かべるこ
とが出来る。私の感性と写真
技術では到底そこまで表現出
来ない。遅蒔きながら、描い
た方とそれを掲載した編集者
に敬意を表します。今後も絵
画に限らず詩歌などの投稿・
掲載を望みます。

閑話休題。

その富山から海越しにどっ
しり見えたのが伊豆天城山、
あんなに大きな山塊とは!!驚

曇り空の中を登ると、オレ
ンジ色の山躑躅と思われる花
が咲いている。天城躑躅の看
板の掛かった樹も目に入る。
開花時期は6月〜7月で朱色
の花と書かれており、葉と蕾

これらの景色をあのご主人
が描くとどんな絵になるので
あるうか？いつかは時間にも
世間の話題にも他人の眼にも
とらわれず、気の向くままの
んびりと絵を描いて見たいと
思ってはいるのだが・・・。

今回の天城山山行は三葉躑
躅が、天城山Ⅱ石楠花という
先入観を覆してくれた。先入
観や固定観念はなければない
ほど良い。



【山行日】H 27年5月20日
【参加者】佐々KM、TK、
他4名